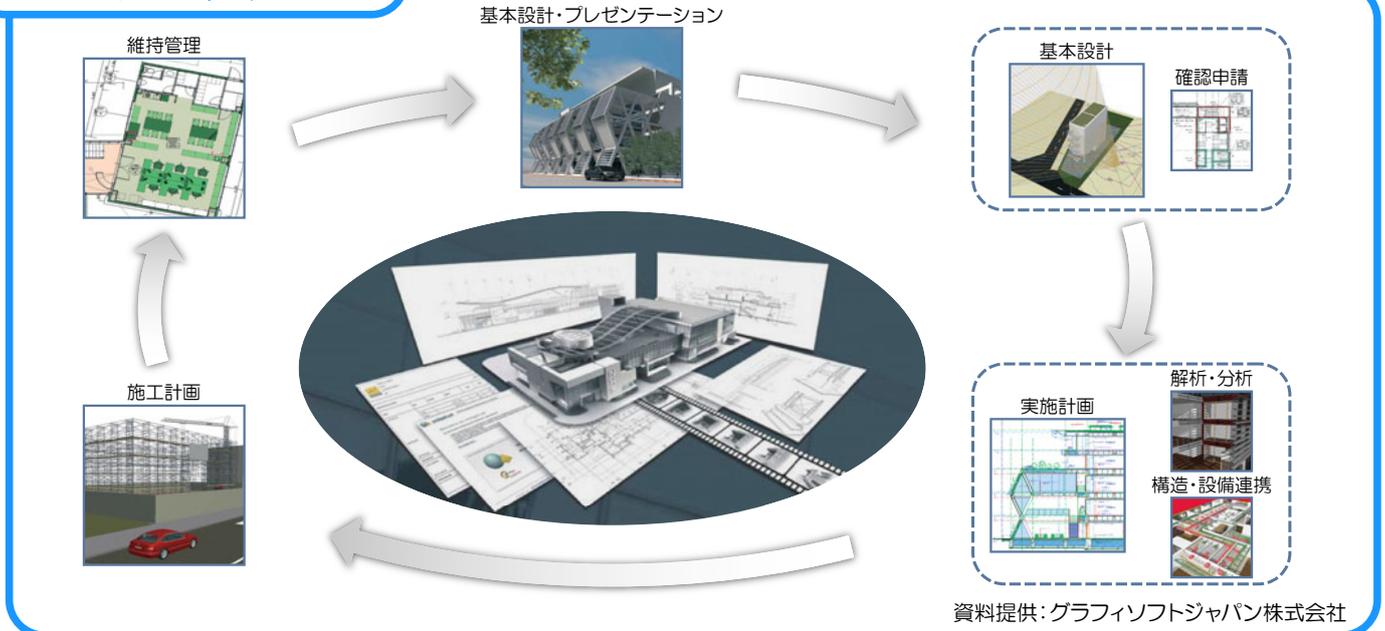


# BIM ビジュアライゼーションサービス

BIMとは、Building Information Modeling(ビルディング インフォメーション モデリング)の略で、コンピューター上に3次元の「バーチャルビルディング」を築き、さらに電気・配管設備などの情報を付加構築するものです。計画の修正・変更が、全てのプロセスにリアルタイムで反映されるのはもちろん、プロジェクトのライフサイクル全体を管理し、作業の効率化と生産性を高めるためのシステムです。

## BIM ワークフロー

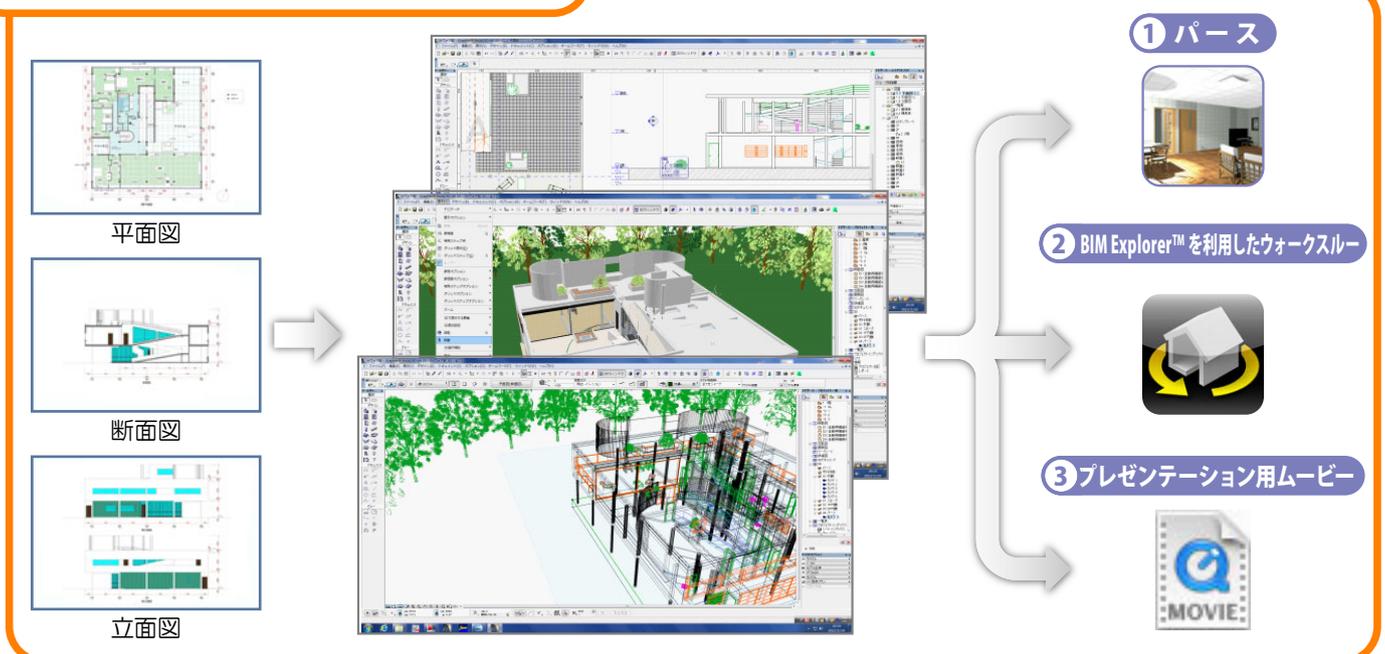


当社は、GRAPHISOFT社の ArchiCAD®を早期に導入し、BIMの企画設計・プレゼンテーションステージにおける、ビジュアライゼーションデータの作成で、経験と実績を積み重ねてまいりました。

プレゼンテーションステージにおけるBIMの利用は、計画の早い段階で、発注者が希望とする建物を立体可視化することができ、多様なニーズに瞬時に対応することを可能とします。プロジェクト関係者にも計画の意図を明確に伝えることが可能になり、意匠・構造・設備の各設計と施工や維持管理など、事業に関わる全ての関係者が、それぞれの立場で、BIMでビジュアライゼーション化されたデータを確認することで、プロジェクト完成まで目的の共有を図ることが出来るようになります。

高度化、多様化されていく建築ワークフローの中で、BIMはプロジェクトのコミュニケーションツールとして欠かすことのできないシステムになりつつあります。

## BIM ビジュアライゼーション



## ① パース

ArchiCAD®プレゼンテーション用データの作成例として、建築家 ル・コルビュジェの『サヴォア邸』を再現しました。ArchiCAD®で作成したBIMデータを元に、Artlantis Studio™でレンダリングしております。



## ② BIM Explorer™ を利用したウォークスルー\*

GRAPHISOFT BIM Explorer™を利用すると、BIM専用ツールやBIMアプリケーションがなくても、PCやiPad等で、BIMの仮想空間を自由に歩き回ることができます。空間の大きさにかかわらず、どこでも自由に歩きまわれるので、建物内の空間や、建物のデザインを確認・把握することができます。

協議や打合せでの合意形成には、強力なアイテムとなります。

## ③ プレゼンテーション用ムービー\*

レンダリング画像を並べた動画を、外部ファイルとして保存して、フライスルームービー等を作成出来ます。ArchiCAD®がインストールされていないPCでも、順路に沿った空間の見え方等を表示確認することができます。

\* サンプルデータは当社ホームページ、<http://www.seikoh.jp/bim.html>から、ダウンロードすることができます。

## お客様の声

当社BIMビジュアライゼーションサービスをご利用頂いたお客様から、こんな声が寄せられています。

- ・ 従来、設計段階での打合せは、平面図・立面図や一枚程度の手書きパースを用いていましたがBIMを用いる事で、様々はアングルの外観パースが作成でき、今までにない視点から打合せを行うことが出来るようになりました。発注者様からも好評を得て、スムーズに協議を進めることが出来ました。
- ・ 今まで、壁や床などの仕上げを決める場合に、写真やサンプル材を用いて説明を行っていましたが、BIMで作成した、ウォークスルーデータを用いることで、よりリアルな完成予想を表現することができ施主様との打合せもスムーズにはこび、早期に合意を得ることが出来ました。